

哲学思想基本研究 III (その1)

2 units 2nd-year(1st semester)

Shoichi Yoshida · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) 日本あるいは西洋を代表する哲学者の主要著作、あるいはそれに関連する文献を講読する。テキストの精読を通して、哲学的思想を読解し理解するために必要な基礎的訓練を与える。取り上げる思想家の著作が外国語で書かれている場合には、日本語訳を用いることもある。

Outline) 哲学史上の基本的著作の講読

Keyword) 存在と認識, 倫理と宗教, *nature, culture, religion*

Relational Lecture) “ヨーロッパ思想研究”(0.5), “社会思想研究”(0.5), “比較思想研究”(0.5)

Notice) 根気よくテキストとつきあってください。平成13年度以降に入学した学生が対象です。

Goal) 原典に向き合い、原典に即して考える(これは「批判的」であることを排除しない)姿勢を身につけること。

Schedule)

1. 2011年度は、波多野精一の『時と永遠』を講読する。
2. 授業は15週行い、16週目は成績評価と評価の講評にあてる。

Evaluation Criteria) 期末の試験は行わない。講読にあたっては、毎回受講生の誰かにその日の部分について発表をしてもらう。その発表の様子や毎回の授業への取り組みの姿勢などに基づいて、総合的に成績評価をする。期末にレポートの提出を求める場合もある。

Re-evaluation) 行わない。

Textbook) 「波多野精一全集」(第四巻に所収)や単行本(いずれも岩波書店刊)が大学図書館にあるので、受講者はそれを借り出されたい。

Reference) 参考文献等は授業の中で紹介する。

Webpage) http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/tetsugak/phil_index.html

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218885>

Contact)

⇒ Yoshida (1-1N11, +81-88-656-7150, shoichi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 水曜 12時から13時)

Note) 2011年度前期